

6/11 早稲田

米消費者物価 8.6% 上昇

5月、40年超ぶり伸び率

【ワシントン＝共同】米

可能性がある。

労働省が十日発表した五月

金融市場の予測は前月と
同じ8・3%程度の上昇だ

の消費者物価指数は、前年

同月比8・6%上昇し、伸び

率は第二次石油危機後の
インフレが長期化していた

一九八一年十一月（8・9
%）以来、四十年五カ月ぶ

りの大きさ。物価抑制を急

ぐ米連邦準備制度理事会

（F R B）による金融引き

締め策が、さらに加速する

国内企業物価 9.1% 上昇

日銀発表 原油高で高水準続く

日銀が十日発表した五月（報）は、前年同月比9・1
の国内企業物価指数（=100%上昇の一一二・八だつ
た。二〇年平均=100、速）た。比較可能な一九八一年

以降で最大だった四月の9
・8%は下回ったが、高水
準の伸びが続いている。ま
た、一一二・八の指標そ
のものは四月と同じで、六〇
年の統計開始以降で最高の
水準となつた。

円ベースの輸入物価指数の
上昇率は八一年以降で最大
の43・3%となつた。日銀
が大規模な金融緩和策を続

き上げを続ける構えだが、
その後も大幅利上げを繼
続する可能性が出てきそう
だ。

六、七月も0・5%の引
き上げを続ける構えだが、
その後も大幅利上げを繼
続する可能性が出てきそう
だ。

への価格転嫁を一段と進め
る可能性がある。

品目別では、石油・石炭
製品が21・6%、鉄鋼が29
・8%それぞれ伸びた。木

材・木製品の上昇率は56・
1%、電力・都市ガス・水
道は28・6%、飲食料品は
4・6%だった。

為替市場で円安が進み、
円ベースの輸入物価指数の
上昇率は八一年以降で最大

の43・3%となつた。日銀
が大規模な金融緩和策を続
ける一方、欧米などの中央
銀行は利上げに動いてい
る。相対的に金利が低くて
資産運用に不利な円が売ら
れる構図は当面続もうそ
だ。

海外で新型コロナウイル
ス禍からの景気回復が進
み、需要が伸びたことも物
価を押し上げた。全五百十
五品目のうち、上昇したの
は四百二十六品目で、下落
した。日銀の担当者は「飲
食料品の上昇品目が特に増
えた」と説明した。

今回発表した指標は、新
基準に基づいて算出した。
四月の指標の伸び率は、旧
基準では10・0%だった。